

☆☆☆小野わかば幼稚園☆☆☆

おのまちわかばたんけんたいの素敵な冒険

★第1回 自然遊び「生き物・植物と触れ合おう！」 緑とのふれあいの森公園

第1回(5月29日)のたんけんたいは、緑とのふれあいの森公園へ行きました。

はじめに「探検の極意」を確認。「自分のことは自分でするべし」「自分のからだは自分で守るべし」。3つ目の極意は、ゆり組さんへの宿題です。

今日の自然遊びは「たんけんビンゴ」。9つのお題を探しながら○をつけていきます。切り株やチョウチヨ、昨年盛り上がったオタマジャクシ、ウルシや動物の足跡などの難題もあります。「あったよ～」という声が響く度に「どこどこ～」と公園中を駆け巡ります。想像力を発揮しながら探したり、見つけたものを伝え合ったり、池の周りで釣りがはじまったりと、新緑の森を心から楽しんでいました。意外に苦戦していたのはなんと「ことりのこえ」。ぜひ、お家でも小鳥の声に耳を澄ましたり、自然のにおいを嗅いでみたりと五感を通して小野町の豊かな自然を楽しんでみてください。



★第2回 トレッキング「地図を見ながら探検しよう！」 東堂山→緑とのふれあいの森公園へ



第2回(6月19日)のたんけんたいは、東堂山から緑とのふれあいの森公園へのトレッキングです。ゆり組さんが第3の極意を発表し終わると、石になったキビタンから挑戦状と地図が届きました。羅漢様の前をドキドキしながら通り過ぎ、お友達と地図を確認して森の中を進んでいきます。大きな岩、根っこの小道、急な下り坂や登り坂が子どもたちを待ち構えています。ツルを見て「木にへびが絡まっている!」、木漏れ日を見て「光の入り口だ!」とつぶやく子、「転ばない!」、「自分で登る!」と必死に歩いている姿なども見られました。最後の登り坂を超え、ゴールした時の爽やかで満足気な表情は、出発する前より一回り大きく成長したように見えました。子どもたちの底力と豊かな感性に驚かされた1日となりました。

★第3回 自然遊び「沢遊びと昆虫探索」 夏井川河川敷

第3回(7月3日)のたんけんたいは、夏井川河川敷で沢遊びと昆虫探索を行いました。前半は、ゆり組さんが川原で昆虫採集。順調にバツタ、チョウチヨを採集し、川の淵まで行ってカエルや小魚も捕まえました。一方、ばら組さんは恐る恐る川に足を踏み入れます。濡れる洋服と靴にとまどう子、怖さを感じる子もいます。砂利と流れに足をとられながらも、お友達と手を繋ぎバランスをとって進んでいきます。少しずつ怖さを乗り越え、流れに負けずにゴールへ辿り着いた子どもたちの表情は、何とも言えない満足気な様子でした。ゆり組さんの考えた第3の極意「ともだちとちからをあわせるべし」が、お互いに励まし合い、助け合うための鍵となっていたようです。昨年経験しているゆり組さんは、はじめから全力で沢登りと沢遊びを満喫していました。全身で自然を感じることができた1日となりました。

